

令和5年1月10日

救護施設彦山の森における新型コロナウイルス感染者発生のお知らせ
(第1報)

令和5年1月4日、当社会福祉法人 長崎厚生福祉団が運営する「救護施設彦山の森」の職員1名が発熱症状のため病院を受診したところ、新型コロナウイルス陽性との結果を受けました。

その時点で、接触者となる職員5名について抗原検査を実施したところ、全員の陰性を確認しています。

1月6日に、職員1名が発熱症状のため病院を受診したところ、陽性が判明しました。

1月9日に、発熱症状が見られたご利用者について抗原検査を実施したところ、陽性が判明しました。

本日1月10日に、ご利用者と職員66名(ご利用者51名、職員15名)について抗原検査を実施したところ、ご利用者2名、職員2名の陽性が判明しました。

1月4日～10日までに、ご利用者3名、職員4名、合計7名の陽性が判明しています。

この結果につきましては保健所へ報告を行っており、今後の対応について相談しております。保健所および嘱託医師としっかり連携をとり対応していきます。

陽性となったご利用者については、全員施設療養中です。

職員については、全員自宅療養となっています。

他のご利用者にも発熱など症状がある場合は、引き続き検査を実施していきます。

これらの状況を踏まえて、当該施設において、下記対策を実施しています。

- ①ご家族面会の中止
- ②実習受入の中止
- ③ご利用者の入浴の中止(入浴については清拭等で対応)
- ④入所・退所の中止
- ⑤ゾーニングを実施して隔離対応

なお、状況に変化があり次第情報の開示を行ってまいります。

ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

地域住民のみなさま、当法人のサービスをご利用くださっている方々とご家族、関係機関のみなさまにご心配とご不安を与えることとなり、深くお詫び申し上げます。

今後も保健所との連携を図り、ご利用者及び職員の健康状態の経過観察を行うとともに、感染拡大防止に向け、適切な対応に努めてまいります。

令和5年1月10日
社会福祉法人 長崎厚生福祉団
理事長 千々岩 源士